

○時わかず泣く

作詞：読み人知らず 作曲：上野紘史 編曲：上野紘史 演奏:はるひの  
withDODOWAKA

「ひぐらしは、時と鳴けども、片恋に、手弱女我れは、時わかず泣く」  
(読み人知らず)

▷万葉集 卷10-1982

(ひぐらしは ときとなけども かたこいに たわやめわれは ときわ  
かずなく)

意味：ひぐらしは今こそ時が来たばかりと鳴いているけれど、片思い  
に、か弱い女の身である私は、一日中泣き暮れています。

注：ひぐらし=夕方の日暮れ時に決まって泣くことから「日を暮れさせ  
るもの」としてヒグラシの和名が付いた。手弱女我は(たわやめわれは)=  
自分をか弱い女として捉えた表現。時わかず泣く=「一日中泣き濡れて  
います」の意味。「わかず」は「わく」の打消。「わく」は「分く」  
で、「区別する」の意味。つまり「時わかず」は「時を区別せずに」の  
ことで「いつも」「一日中」の意味となる。

解釈：好きな人はずっと訪ねてこない。今夜も来るあてはないでしょ  
う。毎日泣き続けるか弱い女性のある日の夕刻の悲しい失恋の感慨を詠  
った。